

青年実業家

内田魯庵

青空文庫

「全^{まる}でお咄^{はなし}にならんサ。外債募集だの鉄道国有だのと一つの問題を五年も六年も担^かぎ廻^{まわ}る先生の揃^{そろ}つてる経済界だもの。近ごろ君、経済書の売行^{うりぎやう}が好^いいさうだが、何の事は無い、盗^{ぬす}賊^{びと}を見て繩^なを縋^なふやうなもんだ。戦争以来実業が勃興^{はつこう}したといふのが間違^{まちが}つてゐる。何が勃興^{はつこう}してゐるもんか、更に進歩しないと云つても宜^{よろ}しい、畢竟^{けいけい}空^{から}株^{かぶ}の空^{くう}相^{さう}場^ばが到^{いた}る処^{ところ}に行^いはれたので一時に事業が起^おつたやうに見えたが、本^もとくが空^{すき}腹^{はら}に酒を飲^のんだやうなものでグデン／＼に騒^{さわ}ぎ立^たつた挙^あ句^ぐが嘔^へ吐^どを吐^はいて了^{しま}うとヘタ／＼に弱^{よわ}つて医者^{いしや}の厄^{やく}介^{かい}になると同様^{どうがう}だ。我^{われ}々の会社^{かいしや}を見給^{みたま}へ、重役^{じゆうやく}様^{さま}がボーナスを少^ちとでも余計^つ握^かまうといふ外^{ほか}には何^{なん}の考^{かう}も無い。元^いつた

来^い実業界の先輩と威張つてゐる奴らは昔からの素町^{すぢやうにん}人か、成上

りの大山師か、濡手で粟の御用商人か、役人の古手の天下つたの

か、斯^かういふ連中のお揃ひだから真の文明流のビジ子スを知つて

る者は無い。投機や株の売買も商売の一つだから行^やつても宜^いいが、

最^もう些^{ちつ}と道德を重んじて呉れないと困る、昔から云つてゐる事^こつて

すが日本人は公共思想が乏しくて商売をしても他^{ひと}を倒すことばか

り考へて商売其物を発達せしめやうといふ考へは無い。同商売の

者は成るべくトラスト流に合同して大資本を作つて大きな商売を

して貰ひたいのだが、日本人同志^{なか}の間では小^{けち}な利慾心が邪魔をす

るから^{とて}迎も相談が纏まらない。現に僕が関係してゐる会社では三

四の同業者があるから合同して大きな工場を建てたら如何^{どう}だとい

ふ意見を持出した処が、此方こちの会社が十分優勢を占めてるのに以ての外だと排斥されて了つた。亜米利加アメリカでは大資本家が小資本家を吸収して利益を壟断ろうだんすると云つてトラストの幣へいを頻りに論じてるが日本では先づ当分トラストが行はれるほど進歩しない。一緒に大きく儲けやうとはしないで他人ひとに儲けられまい儲けられまいとケチ／＼してゐる。裏店根性うらだなだ……

「併し頭の禿げた連中は仕方が無いとして若い者は奈何どうかと云ふと、矢張駄目だ。血氣盛んな奴が懷中手ふところをして濡手で粟の工く風ばかりする老人連の真似をしたがる。実業家といふと聞えが好いが近頃の奴は羽織ゴロの方に近い。立派な新教育を受けた若い連中てあひまでが斯様こんな怪しからない所為まねをしたがるから困る。例へば

商業学校、あれが少しも役に立ちませんナ。元来^{いつたい}ビジネスは実

地に経験^{レクチュア}を積んで然る後覚えられるもんで、学校の教場で教師の

講義^{講義}を聞いたつて解るもんぢやアない。銀行の取引実務とか

手形交換の実習とか云ふものなら昔^{むか}しの商法講習所位^{むか}のものを置

けば沢山だ。経済学や法律学なら大学で、教へてゐる、私立の専

門学校もある。實際また商業学校で教へる位の片^{かたはし}端^{かじ}を噛^{かじ}つたつ

て何の役に立つもんですか、無駄な事^{こと}つた。此^{この}金の足りない中で、

殊に経費少ない文部省が這般^{こん}な無用の学校に錢を棄てるのは馬鹿

げてゐる。第一貴^{あなた}処^{あなた}、困る事には此役に立たない商業学校の卒業生

が学校を出れば一^{ひと}廉^{かど}な商業家になつた氣である、高等商業学校

を初めとして全国に商業学校が各府県に一つ宛^づある、毎年卒業生

が千人も出るでせう。百人に一人位真摯まじめなものもあるかも知れな
 いが、大抵は卒業すると直ぐ氣障きざな扮装なりをして新聞受売の經濟論
 や株屋の口吻くちまねをしたがる。先輩の對手あひてにならないのは仕方が無
 いが後継者あとつぎの若い者までが株屋や御用商人の真似をしたがるから
 困る。其証拠そのには貴下あなた、斯ういふ学校出身者で細くとも自分で事し
 業ごとを初めた人がありますか。多い中には有るかも知れないが、先
 づ学校を出ると会社とか銀行とかへ入つて端多はした月給でも貰つて氣
 楽に飯の喰へる工風をする。校長初め教師までが其方を奨励する。
 実業家達は小才の利く調法な男を廉やすく傭使つかへるのだから徳用向き
 の仕入物を買倒かひたふす氣で居る。然るに高い學費を何年も費つかひ込ん
 だ商業學者先生達は会社か銀行の帳ちやうつけ付にでもなると直ぐ実業

家を氣取つて、極愚劣な奴は安芸妓に陥り込んで無けなしの金を入上げる、些と生意氣な奴は書卓デスク附属の器械であるのを忘れて一知半解まかしりの金融論をする、少しばかりのボーナスを貰うと炭鋤とか日鉄とか直ぐ手を出したがる、事業其物に忠実なものは殆ど無い

「カラキシ何も彼もお咄になりませんや。我々のやうに少と理窟でも捻らうといふ奴は継子扱ひされてテンで相手にされないのだから仕様が無いのサ。金を儲けるといふが何も難かしい事は無い。正実な道を踏んで立派に金儲けが出来る。何ツ——教へて呉れ？ 教へてやらんでもない、正直に真面目に金の儲かる道はいくらもある。其内ユツクリ話して聞かせやう。今の実業家連中は

情ない哉22が4といふ事を御存じない。22が6と算盤そろばんを弾き出すから景気が好き、うに見えても実は初めから失敗しておるんだ。何だ——解らないと。矢張君も22が6の連中うちだらう——はツはツはツ」と故わざと磊落らしく笑ひながら口の裡うちにて、（実は自分にも解らない！）

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆」5 商「作品社

1989（平成元）年1月25日第1刷発行

底本の親本：「社会百面相 上巻」岩波文庫、岩波書店

1953（昭和28）年2月

入力：土屋隆

校正：noriko saito

2006年10月17日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

w.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

青年実業家

内田魯庵

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>